

令和4年度第2回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会  
(長野市版子ども・子育て会議)  
会議要旨

- 開催日時 令和4年8月23日(火) 午前10時から午前11時44分まで
- 開催場所 長野市ふれあい福祉センター5階 ホール
- 出席委員 水口会長、宮下(弥)副会長、塚原委員、塚田委員、峰川委員、和田(典)委員、重野委員、野澤委員、和田(勇)委員、宮下(孝)委員、寺島委員、白鳥委員、村田委員
- 欠席委員 田中委員、水野委員、中村委員、市川委員
- 事務局出席者 日台こども未来部長、石坂こども総合支援センター所長、花立こども未来部次長兼こども政策課長、河西未来部次長兼子育て家庭福祉課長、丸山保育・幼稚園課長、岩山生活支援課長、穂刈障害福祉課長
- 傍聴者 なし
- 報道機関 2社

発言者	内容
	1 開会
会長	2 挨拶
事務局	3 議事 (1) こども総合支援センターについて(報告)  資料1に基づき説明
事務局	(2) 第二期長野市子ども・子育て支援事業計画 令和3年度の点検・評価について (3) 第二期長野市子ども・子育て支援事業計画 中間見直しについて  資料2・資料3に基づき説明  《質疑応答》
委員	放課後子ども総合プランの施設は学校の空き教室を使うと了解しているが、職員の確保に苦慮している。子どもを預かること自体は、我々の責務としてやっ ていかなければならないので、職員の確保策を明示していただきたい。現場を預 かる者として子どもの安心・安全確保に苦労していると認識していただきたい。
事務局	支援員の確保について、計画の中で定めている目標値になかなか到達できて いない状況で、職場環境に影響していると思う。支援員として活躍していただ いている人は、保育士資格を持っている、或いは教員資格を持っている方なので、 保育・幼稚園課とも協議していて、代替職員の方に、緊急時には応援していただ

発言者	内容
委員	<p>くようにするとか、退職される教員に対して一斉PRをしたらどうかと考えている。</p> <p>今のところ、人の繋がりで繋がってきているので、システムティックに募集していくことも必要と思っている。</p> <p>私どもも知恵を絞るので、いろいろと教えていただければありがたい。</p> <p>職員の確保、人のやり繰りに関して、慢性的な保育士・幼稚園教諭不足の中、新規の入園希望者はどんどん増えている。人材の掘り起こしも難しい中、最低賃金が上がって社会保障の枠組みは変わらないので、扶養の範囲内で働きたい職員の働く時間が短くなるという矛盾に直面している。</p> <p>かなりの方々が育休明けで子どもを預ける時代で5年保育が主流になっていくが、生まれてくる子どもは2,400人ぐらい。3歳未満児を預かるとなると、絶対的に人が足りない。</p> <p>市の枠組みの中で職員をどう確保するのか、それとも家庭で子どもを見るところという方向性を色濃く出すのかを考えていただきたい。絶対的に保育士が不足していて増やすのは現実的に厳しい話。どのような施策で確保するのか旗印がないと、預ける先がなくなってしまう。長野市が会社、企業とどのように協力して進めていくのかを、次の計画以降にお示しいただきたい。</p>
事務局	<p>保育士の配置が非常に厳しい中、保育園、幼稚園、認定こども園の皆さんにご苦労いただいております、これからの課題と認識している。社会的な要因として、人口減少、少子化、感染症の拡大がある。働くお母さんが増える中、子どもたちの数は減っていく一方で、需要の多い状況は続く。</p> <p>保育士養成は今後も厳しいが、社会情勢と経済情勢を優先する状況なので、できることはやる。従来は中級のみを採用枠だったが、いろいろな学生がいるので、中級、上級それぞれに採用枠を設けて受けやすい環境を作るなどの工夫をしている。今、できる対応を継続していくことが大事。幼稚園、私立保育園の皆さんとも連携しながら、今は勤めていない保育士を掘り起こしていくことも必要になる。</p> <p>今後の課題は、子どもさんに個別に対応できる保育の質の問題。それを解決する次の手を早めに打ちたい。</p>
事務局	<p>事業所を含めた社会全体での子育て支援について、触れさせていただく。働き方改革が行われているが、少子化の中では、働くことと育児、ワークライフバランスも大切な視点だと考えている。育休明けの三歳未満児の保育の確保は、保護者が社会復帰し、事業所に戻っていくための重要な部分であり、今後も、需要はこのまま維持ないし増えていくと考えている。</p> <p>そのため、保育士の確保は必要なので、様々な場面で、保育士の養成校に向けて、長野市内の保育所、認定保育園等の様々な魅力を伝えるような活動を今後も続けていきたい。</p> <p>また、10月からパパ育休制度が始まり、男性の方、パパも育休を取得して育児に参加する社会が変わってくるので、今後は男性の方への育児支援も考えな</p>

発言者	内容
委員	<p>ればいけない。いずれにせよ、社会全体での子育て支援が必要なので、皆様のご意見をお聞きしながら進めていきたい。</p> <p>早急に手を打たないと、1月、2月、3月生まれのお子さんが日本からいなくなる。これは過激かもしれないが、1月、2月、3月生まれは保育所に入れないと、二子、三子の保護者の方々は体感している。</p> <p>1つの部屋に3人、4人の資格有資格者が必要だが、研修を受けた無資格者を含めるような基準緩和も念頭に入れていかないと、これからの保育士不足を補えないという意見も関係者から出てきている。そのぐらい危機迫っている状況だと承知されていると思うが、議事録に留めて共有していただきたい。</p> <p>委員</p> <p>保育、放課後事業について、環境が子どもを見るのではなく、人が見るとするのは当たり前のこと。環境は助けるだけであり、直接子どもたちを支援する訳ではない。人員確保と併せて、育成も念頭に置きながら、ぜひ進めていただきたい。</p> <p>資料2の3ページ、07「個別政策の職員配置の充実」の3項目の中の、07-01の施策は公私立合わせた評価だが、02と03については、主に公立園での成果、評価で、未だに公立私立を分けているのはなぜかと疑問を感じる。次の計画策定の折には、職員配置の充実については、公立、私立保育園、幼稚園の種別を越えた計画にしていきたい。</p> <p>他の自治体では、市内の園に就職すれば、引っ越し費用や一時金を支援するところもあり、全国的に人材の奪い合いが行われている。そのような施策も考えてほしい。</p> <p>事務局</p> <p>地域全体でのレベルアップ、質の向上、社会全体でどのように子どもたちを支えていくかも共通の課題であり、公立、民間の枠を越えていかなければならない。すべてのお子さんに対してきちんと向き合っていくことが研修であり、保育の質の向上という大切なことに繋がると思う。</p>
事務局	<p>(4) 長野市子どもの貧困対策計画の素々案について</p> <p>資料4に基づき説明</p> <p>《質疑応答》</p> <p>委員</p> <p>感想というかお願いというかを申し上げたい。理念的に申し分のない素晴らしいものと読ませていただきました。ただ、貧困対策計画は、そもそも形に表れてこない非常にレアケース、特殊なケース、複雑なケースほどしっかり支援できるようにお願いしたいところです。</p> <p>この計画では制度の狭間に陥ってしまうケースがあります。例えば、DVの方は市外から来ます。住民票がない、逃げているわけですから職がない、下手をすると数万円しか持って来ないという状況で、まず自立した生活のために職がほしい、住居がほしい、保育園もそうです。差し迫っているけれど市民でない、住</p>

発言者	内容
事務局	<p>民票がないなど理由で、話が進まない。 何が言いたいかというと、特殊なケースほど貧困に陥る状況を防いでいただく施策を進めていただきたい。</p> <p>ありがとうございます。次回お示しするときには、もう一步踏み込んで考えたいと思っております。</p> <p>私どもとすれば、このアンケートの結果は、貧困の部分も含めて多くの人達に知っていただきたいので、多くの人達が可視化できる方策を考えていきます。ホームページに載せるのはもちろんですが、あらゆる機会を使いながら、この状況についてご説明をさせていただき、長野市民の方々の中にもこういうご家庭があるということを知っていただくことが必要だと考えています。まずは、そんな取組を一生懸命させていただきたいと考えています。</p>
委員	<p>市民全体で啓蒙しながら、アウトリーチを大事にして見つけていきたいと思います。施策の5-3にあります。アウトリーチをしていく人達のスキルアップ、ヤングケアラーだと気づけるような人を育成する事業の計画があるというのではないかと。</p> <p>市民はどんな着眼点で見守ったら良いのか分からないので、市側が啓発講座を開いていただけるとすごくありがたいと思いました。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今の話も検討させていただきたい。</p>
委員	<p>令和3年度の点検・評価にも関係すると思うのですが、D評価になった部分はコロナの影響が関係している。やはり対人支援で直接対面しなければというところが難しい。特に分野5が長野市独自の施策になった時に、直接対人的に対面しなくてもフォローできる仕組みがもう少しプラスされてもいいと感じました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。コロナの影響で孤立化が進んでいる部分も大きいと思っております。その結果自己肯定感も低くなって、死刑になりたいから殺人を犯すという、考え難い出来事も起きています。対人・対面関係が一番いいとは思いますが、そうではなくても社会の中でコミュニケーションをとれる仕組みについても研究をしたいと思っております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。長野市独自の温かな仕組みづくり、社会づくりは大変共感をするところであります。ぜひぜひ進めていただきたい。</p> <p>60ページからの第4章の施策の展開、1-1の主な取組に、2項目目に幼児教育・保育の無償化が掲げられています。現在は国の方針で3歳から5歳まで全ての子どもの幼児教育・保育の無償化が進められております。0歳から2歳までのお子さん方については無償化の対象ではありません、市として住民税の非課税世帯について無償化の対象にしますという制度ですけれど、この制限を徐々に広げていただくと、長野市は温かいとわかっていただけるのではないかと。保育士が足りなくて困っている話と相矛盾しますが、どちらかを取ればいい話では</p>

発言者	内容
	<p>なく、どちらも高めていくのが知恵の出どころだと思います。</p> <p>次のページ、保育士等職員の処遇改善です。民間の園の給与金額を決めるのは各法人あり、公が口出しするのは難しいと思いますが、理念、思いからすると、この言葉はちょっと冷たいと感じます。</p> <p>「公立保育所嘱託保育士等の賃金を含めた処遇改善に取り組むとともに、民間保育士等については国の方針に基づき実施します。」</p> <p>何を実施するのか書いていない。長野市の温かさが感じられず、公立と民間の差があるのかとなります。給与の額を上げるという処遇改善だけではなく、例えば、研修のあり方や有給取得、休憩のあり方とか、公立園では研修代替、有休代替、休憩代替が整っていて研修に出やすい、或いは休暇が取りやすいとお聞きしています。長野市独自の施策で、代替の対象を民間にも広げていただければ、公私立の格差の解消も処遇改善になると思います。</p> <p>最後、64ページ、幼保小連絡会議があります。この違いがよくわかりません。片方は保育・幼稚園課の担当、片方は学校教育課の担当となっています。ここを整理できないかと思います。</p> <p>県の幼児教育支援センター主催で開催された園小接続の研修会で、小学校一年生の授業で朝顔の観察学習の話題になりました。子ども主体の教育保育を推進していく中で、数ある選択肢から子ども自身が「これをやりたい」と選び、それを進めていくのが基本なのに、なぜ朝顔だけなのかという話がありました。学校では当たり前と思われていても、世の中は今違うぞという実践が始まっているのが幼稚園、保育園、認定こども園の現場だと思います。</p> <p>幼保小連絡会議、学校の先生方、特に教頭先生を中心に学校の先生が今子ども達の就学前の子ども達の学びの場がどういう形になっているのかってところはぜひ見ていただきたい、体験していただきたいと思いますし、そうした中でこの似たような会議がそれぞれ、なんか違うところで同じようなことをやっているってところにそういう段差があるという気もしますので、ちょっとそういうところも含めて見直していただければと思います。</p> <p>貧困対策に直接関係はしませんけれども、全ての子ども達に対しての温かい社会を目指してというところでお話をさせていただきました。よろしく願います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。関係所属と調整をさせていただくと同時に、大人目線ではなく子ども目線と、支援者目線がすごく大事だと思っていますので、もう少し整理をしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>企業との結びつきの項目がないようですが、企業も知らん顔をしないとしっかり盛り込んだ方が良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>就労の部分で少し触れさせていただいていますが、整理をさせていただきます。</p>
委員	<p>子どもの権利条約の話です。子ども目線と考えると子どもの意見表明が大事</p>

発言者	内容
事務局	<p>というところで、今回のアンケートでも、子ども達が実は困っているとわかったと思います。</p> <p>「あのえっと」が、子ども達が相談する場所としてうまく機能していけばいいのですが、私が運営している法人でも、子どもが貧困の相談をするのは難しいと感じます。施策の中に、子ども達が訴えられる機会を作れるような内容があってもいいと思いました。</p> <p>ありがとうございます。総括的な話をさせていただくと、まず周りの支援者が気付く、子ども達がSOSなりヘルプを出せる、そういった仕組みが必要だと思っています。この部分については深く踏み込んでいないので、もう一度整理させていただければと思います。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
	4 その他
	5 閉会